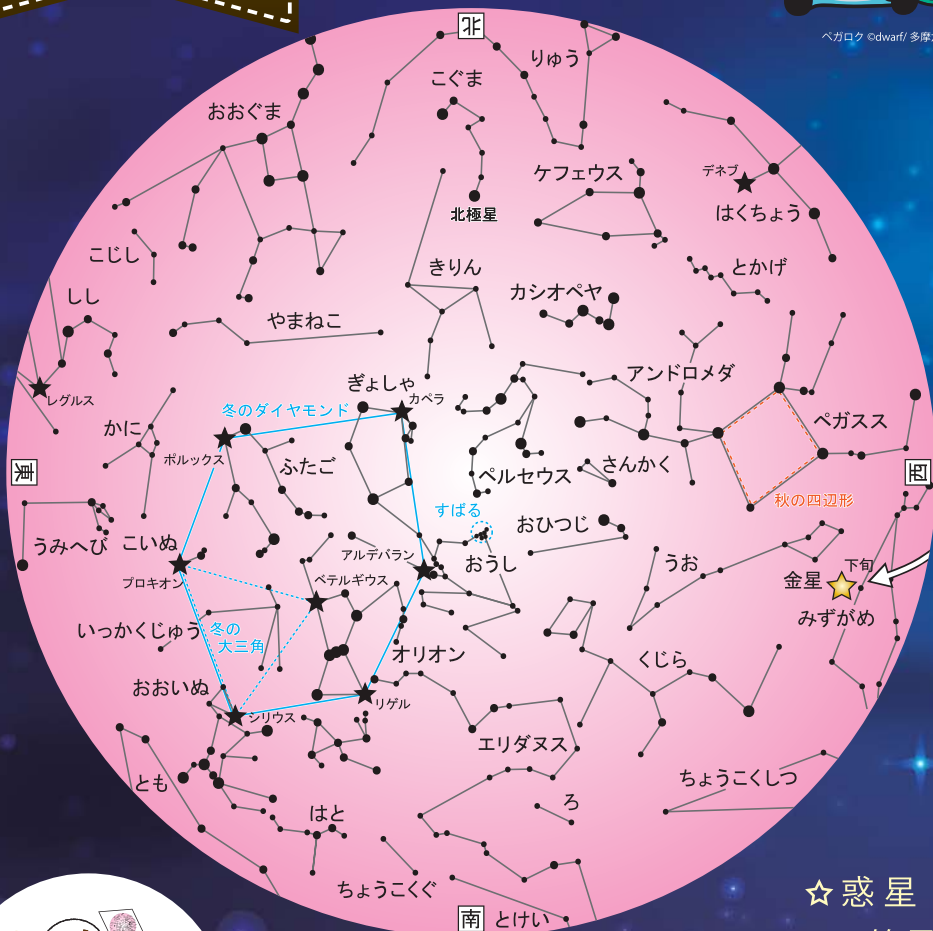


1月の星空

上旬：21 時頃
中旬：20 時頃
下旬：19 時頃



ベガロク ©dwar/ 多摩六都科学館



星座案内のつかいかた

星座盤は空にかざして方位を合わせて見てください。
(空と重ねると東西の向きが正しくなります)

- ☆ 惑星
- ★ 1 等星
- 2 等星
- 3 等星
- 4 等星以下

2020年 1月のおもな天文現象

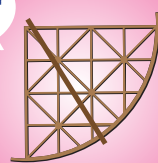
- 1/3 上弦
- 1/4 しぶんぎ座流星群のピーク(午後5時ごろ)
- 1/11 満月(半影月食*)
- 1/17 下弦
- 1/21 月と火星が並ぶ(明け方、東の空)
- 1/23 月と木星が並ぶ(明け方、東の低空)
- 1/25 新月
- 1/28 月と金星が並ぶ

*月が地球の作る薄い影(半影)に入ってやや暗くなる現象。
食の最大となる午前4時ごろは、濃い影(本影)に近い月の
左下のふちが暗く見える。

しぶんぎ座

300 年ほど前にフラン
スの天文学者ラランド
が作った星座で、星の
高さはをはかる道具「四分儀」
がモチーフになっています。元々はうしか
い座や北斗七星の近くにありましたが、
いまの 88 星座には選ばれず、現在は星座
早見盤から姿を消してしまいました。

ワンポイント
星座★



今月のポイント

★ 夜空の明るさ調査に挑戦！

冬はシリウスなど、明るく目立つ星を見つけたら、その周囲にどれほど星が見えるかを確認します。あとは自分が見ている星空が、用意された8つの星図のどれにいちばん近いかな選ぶだけ。「星が見えない」という結果も貴重なデータですよ。

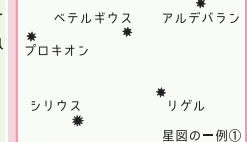
観測のおもなルール

- ・月が出ていない時間を選ぶ(24時まで)
- ・日の入りから1時間以上たってから行う
- ・暗い場所で10分以上待ち、十分に目をならす
- ・双眼鏡や望遠鏡は使わず、肉眼で観測する



参考：GLOBE at Night・夜空の明るさ世界同時観測キャンペーン
URL: <http://idatokyo.org/gan/>

あなたが見る空、どちらが近い？



明るい夜空と光害(ひかりがい)

光害とは「照明の設置方法や配光が不適切で、景観や周辺環境への配慮が不十分なために起こるさまざまな影響」のこと。夜空の星が見えにくくなるだけでなく、動植物の生育や交通安全にまで悪影響を及ぼす問題のひとつです。

空がどれほど光害の影響を受けているかを知るために、環境省は夏と冬にそれぞれ定期的な星空観察を呼びかけています。じつはこの取り組みには特別な観測機器などは一切必要ありません。肉眼での観測で十分なので、私たちも調査に参加することができます。世界規模で定期的に行われている星空観察キャンペーン「GLOBE at Night」などに参加するのもおすすめです。